

## 令和2年度第3回新宿区東京2020大会区民協議会 会議概要

### <開催日>

令和3年3月29日（月）

### <場所>

新宿歴史博物館2階 講堂

### <出席者>

新宿区東京2020大会区民協議会委員（22名）

村岡功、鈴木章生、渡邊哲意、山田和男、武山昭英、小勝雄太、古川哲也、青山豊、安齋正義、丸山由美子、今井康之、宮守美幸、西村大空、野口卓也、的場美規子、金子和子、吉住はるお、鈴木ひろみ、吉住健一、寺田好孝、酒井敏男、三井梨紗子

事務局（2名）

加賀美東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部長、浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長

### <開会>

#### 【村岡座長】

皆様、本日は年度末のご多忙のところご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいまより、令和2年度第3回新宿区東京2020大会区民協議会を開会いたします。

今年度は第1回及び第2回を书面開催としたため、およそ1年振りに会議形式での開催となります。この間、委員の入れ替わりもありましたので、次第に入る前に、改めて当協議会の設置の趣旨などを説明します。

当協議会は、区民や関係団体、新宿区が、東京2020大会に向けて一体となって地域の発展に取り組んでいくことを目的として、2017年7月に設置されました。

これまで大会に関する情報共有や連絡調整を行うとともに、協議会の下に部会を設置し、地域の自主的な取組みの促進や大会に向けた区の事業推進について、具体的な協議を行ってきました。そうした協議の結果は、気運醸成イベント等への参画や協力に活かし、またその反省を踏まえて次の事業の改善に取り組んできたところです。

当協議会の設置期間については、当初は今年度末までの予定でしたが、大会の延期に伴い、来年度まで一年間延長することとなりました。

先週25日には、福島県でオリンピック聖火リレーがスタートしました。いよいよ4か月後に迫った大会に向けて、当協議会においても引き続き情報共有や連絡調整等を図ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って順次進行します。

はじめに、次第の1、新委員の紹介です。

今年度は、6団体において人事異動等による委員の入れ替わりがございましたので、新委員

の皆様を紹介いたします。

#### <新委員の紹介>

ありがとうございました。

新しく委員になられた方々、どうぞよろしくお祈いします。

続いて、次第の2、大会気運の醸成に関する区の実組についてです。

今年度に区で行った取組について、書面開催とした第1回及び第2回の内容を踏まえて振り返るとともに、来年度に実施を予定している事業について、事務局から説明をお願いします。

#### 【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

それでは、資料2「東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に関する区の実組について」に沿って、説明いたします。

1ページをご覧ください。

令和2年度の実組についてです。なお、書面開催とした前回第2回協議会において、上半期の事業を報告いたしました。主な取組として、大会延期に伴う庁舎のエレベーターラッピング及び庁用車マグネットシートの日程の修正や、区内各所のサイネージにおける大会1年前PR動画の放映、教育委員会のホームページにおけるパラリンピック競技を紹介する小・中学生向けクイズ「おうちdeパラマスター！」の公開などを報告しました。

2ページをお開きください。

下半期に実施した事業についてです。第一に、シティドレッシングとして、東京2020オリンピック・パラリンピックの200日前を契機としたPRを行っています。オリンピック開催200日前については、組織委員会が制作したPR動画をサイネージにおいて放映しています。バドミントンの桃田賢斗選手のほか、パラカヌーの瀬立モニカ選手、スポーツライミングの野口啓代選手、パラ水泳の木村敬一選手、柔道の阿部詩選手の動画がございます。パラリンピック開催200日前については、大会マスコット像を制作しました。Lサイズは、新宿スポーツセンターに展示しています。

続いて、3ページです。

第二に、気運醸成イベントとして、2月から3月に、三井梨紗子さんのアーティスティックスイミング教室及び古賀淳也選手の水泳教室を企画していましたが、緊急事態宣言の延長という状況を踏まえ、残念ながら中止といたしました。

第三に、ボランティアについてです。新宿2020サポーターは、令和3年3月6日現在で406名の登録者数となっています。この一年間はイベントの開催がなく、ボランティア活動の機会はありませんでしたが、登録者としては20名ほど増えているという状況です。登録者にはニュースレターを送り、大会に向けた現在の状況を情報共有しています。また、令和3年度は聖火リレーやコミュニティライブサイト等のイベントの中で活躍していただくことを想定しています。

第四に、「なるほど！ TOKYO2020」というタイトルで、広報新宿への記事掲載を月1回行って

います。令和2年12月号では、水泳の古賀淳也選手のインタビュー記事を掲載しました。令和3年1月から3月については、緊急事態宣言により掲載を休止していましたが、4月5日号から再開する予定です。

4ページ以降は、令和3年度の実施の予定です。

5ページをお開きください。

いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されるということで、第一に、コミュニティライブサイトの実施を予定しています。イベントの内容としては、競技中継の放映のほか、アスリートによる競技の解説、また区立小・中・特別支援学校の児童・生徒及び区内団体等によるステージ発表、その他作品展示など、区民の皆様や子どもたちと一緒に作る、新宿ならではのイベントとなるように企画を進めているところです。

6ページをご覧ください。

日程と会場を記載しています。オリンピック期間は新宿住友ビル、パラリンピック期間は工学院大学をお借りして、実施する予定です。

7ページをご覧ください。

実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底いたします。身体的距離をとることや手指消毒、大声での応援を禁止するなどの取組みの下で、来場者が安心安全に楽しんでいただけるように計画していきます。

8ページをお開きください。

第二に、聖火トーチ展について、オリンピックのコミュニティライブサイトと同時開催を予定しています。平成30年度に伊勢丹新宿本店内の会場で実施した展示会は2,000名以上の方に来場していただきましたが、それと同様の展示会を実施したいと考えています。内容としては、ベルリン1936大会以降の夏季オリンピック大会のトーチを展示するほか、大会パートナー企業の協力のもと、今大会のトーチも7月24日以降に展示する予定です。

9ページをご覧ください。

第三に、聖火リレーについてです。オリンピック聖火リレーは、3月25日に福島県のJヴィレッジからスタートしており、121日間をかけて日本全国を巡ることになっています。新宿区は最終日の7月23日の予定で、新宿住友ビルで出発式を開催いたします。また、パラリンピック聖火リレーについては、新宿区は8月20日の予定です。日程は確定していますが、コースは5月頃に発表される見込みです。

続いて、10ページです。

第四に、その他の取組みについてです。子どもたち向けの取組みの一点目として、クールネックタオルを制作します。東京2020大会のエンブレムの制作者である野老朝雄さんによる新宿オリジナルデザインが装飾されたクールネックタオルを制作し、大会の競技観戦時に区内の子どもたちが身に着けられるよう、7月上旬頃の配布を予定しています。子どもたち向けの取組みの二点目としては、パラリンピック競技を通じた伊那市との交流です。令和元年度に、新宿区の子どもたちが伊那市を訪れ、ボッチャの競技体験等を通じて交流しました。令和3年度は、

伊那市の子どもたちに新宿へお越しいただき、パラリンピック競技の観戦等を通じて交流を深めていきたいと考えています。

続いて、ボランティア活動の機会の創出についてです。新宿2020サポーターは、令和3年度は大会に関連するイベントの中で活躍していただき、大会終了後はその経験を生かして、区や新宿区社会福祉協議会、新宿未来創造財団が運営する他のボランティア制度の中での活躍を促していきたいと考えています。

11ページをご覧ください。

東京2020大会の気運醸成を目的とした事業に対する助成を行います。東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成は、4月8日から申請受付を開始する予定です。対象事業期間は4月1日から12月末まで、助成上限額は1団体あたり100万円までとなっています。令和元年度は、22団体に助成をしました。令和2年度は、緊急事態宣言により一年間中止としましたが、令和3年度は改めて実施する予定で、広報新宿4月5日号で周知いたします。また、パブリックビューイングの実施は、各実施団体から大会組織委員会への申請が必要となりますが、この活動に対しては別枠で助成を行う予定です。

12ページをお開きください。

東京五輪音頭-2020-講習会を5月から6月に5回程度、新宿コズミックセンター及び四谷スポーツスクエアで実施する予定です。令和元年度は地域センター10所で実施し、延べ500名程度の方に参加していただきました。令和2年度は実施を見送りましたが、令和3年度は広い会場で、踊り手の皆様の間隔を取っていただいたうえで実施したいと考えています。

最後に、大会の記憶を伝える銘板の設置についてです。大会終了後、聖火リレーのセレモニー会場やパラリンピックのマラソンルートに大会の記憶を残すような銘板を設置し、レガシーの創出を図っていきたいと考えています。

13ページをご覧ください。

令和2年度及び令和3年度のロードマップを示しています。令和3年度における東京都・組織委員会による輸送・交通の広報について、説明いたします。大会時は、国立競技場の周辺、聖火リレーの実施日、開会式・閉会式の実施日、パラリンピックのマラソンの実施日等について、それぞれ異なる形での交通規制がかけられる予定となっています。現在、組織委員会や東京都の方で詳細を調整していますが、かなり広範に交通規制の影響が出ることが想定されますので、きめ細かく周知を図ってきたいと考えています。

説明は以上です。

#### 【村岡座長】

ありがとうございました。

それでは、委員から、何かご意見・ご質問等がございましたら、お願いいたします。

#### 【委員】

コミュニティライブサイトについて、質問です。

7ページに事前申込制と記載がありますが、この申込はいつからを予定していますか。また、

その申込の際に、期間中の日付と時間帯を事前に予約する形を想定されていますか。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

コミュニティライブサイトの申込は、5月25日号の広報で周知する予定です。現在検討している中では、一日の時間帯を3回程度に区分して、それぞれの回で完全入替制にする予定です。そして、入替えの時間帯に椅子や多数の人が触る場所を消毒したうえで、次の回の来場者に入っていただくという対策を検討しています。

**【委員】**

万が一大会自体が無観客開催となった場合には、コミュニティライブサイトは中止になってしまうのでしょうか。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

現在のところ、内閣官房による催物の開催制限等についての通知では、イベントの人数上限として、5,000人または収容定員の50%以内などと示されており、今後こうした通知やガイドラインに基づいて、開催の可否について慎重に判断していきたいと考えています。

**【委員】**

聖火トーチ展について、前は新宿伊勢丹で開催されたため、買い物と併せて立ち寄る方も多くいらっしゃったと思いますが、今回は新宿住友ビルということでそのためだけには行きづらい場所であると思いますので、ぜひ広報を工夫していただければと思います。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

**【委員】**

区交通規制について、大通りを規制すると、その分裏通りに車が流れてくるのが予想されるため、子どもの安全という点が懸念されます。抜け道になるような場所についても、なるべく事前の規制を検討していただければと思います。

また、新宿区では民泊の規制等も含め、これまで外国人への周知や対策を行っていただいています。感染症が拡大する以前は住宅地に外国人が多数いるようなことも見受けられたので、外国人観光客が来ないという前提であってもその点での対応や周知等を徹底していただければと思います。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

交通規制の中でも、特にオリンピック聖火リレーは新宿駅の東西を走る9km近いルートで、スタートが10時15分、ゴールが12時半過ぎとなっています。交通規制はその前後の時間を含めて行うこととなりますが、ルートに接する裏通りの安全の確保は非常に重要と考えていますので、ルート上の規制だけではなく、街区単位で交通の流入を抑制するなどの対応を東京都や警視庁と協議しているところです。大会開催時の地域の安全・安心については、ご指摘の趣旨を踏まえて取り組んでいきたいと考えています。

**【村岡座長】**

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

**【委員】**

この4月から新学期が始まるということで、町会も商店会も新しく就学する子どもたちに記念品を差し上げるなど色々なことを行っていますが、その中で私立学校の子どもたちが多いことに大変驚いています。クールネクタオルの配布先は、区立小学校・中学校・特別支援学校の児童・生徒等とのことですが、私立学校に通う子どもたちも区民ですので、ぜひその子たちにもクールネクタオルが行き渡るように配慮していただければと思います。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

ご意見ありがとうございます。

できるだけ広く配ることができるように、検討させていただきます。

**【委員】**

コミュニティライブサイトについてです。5ページに開催目的として、障害理解を促進するコンテンツを通じ、インクルーシブな社会の実現に寄与するとの記載があり、実際に当団体としてもパラリンピックのコミュニティライブサイトの会場を事前に見学させていただきました。工学院大学の新宿キャンパスは吹き抜けで空間的にも広く、ライブサイト会場として相応しいと感じるとともに、車いすの方々の移動の制約もなく参加できるようになっています。また、開催の内容として、ステージ発表等が予定されていますが、障害理解を促進するコンテンツとして、障害当事者の方々が日常の中で訓練を積んでいるパフォーマンスを披露する場を作っただけということ非常に楽しみにしています。

ただ、やはり障害をお持ちの方々はなかなか免疫力が弱いというところもありますので、その点については十分に配慮して開催していただければと思います。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

これまでの250日前記念イベントや500日前記念イベント等でも、ステージ発表やブース出展等でご協力をいただきありがとうございます。今回のイベントについても、ステージの枠やブースのスペースを確保していますので、無理のない範囲でご出展やご出演をいただければ幸いです。控室の準備等、ご参加にあたって必要な対応については今後調整させていただきますので、よろしく願いいたします。

**【鈴木副座長】**

新宿区が企画している聖火リレーとコミュニティライブサイトというこの大きな二つのイベントに際して、ボランティアの力というものは無視できないと思います。既に4月となり時間が迫っているので、企画内容もさることながら、それに向けた具体的な実施の流れを早急に決めていただき、そのうえでスタッフやボランティアに向けて、感染症対策を含めてどういったことをしていかなければならないか、また具体的な事業の進め方についての周知を図っていく必要があります。

先ほど事務局から説明があったとおり、新宿2020サポーターには400名以上の方に登録していただいている、尚且つこの1年間で増加傾向にあるとのこと。大会組織委員会のボラン

ティアは辞める方もいたようですが、区のボランティアは維持をしているということですので、ニュースレターのみならず、早急に実施に向けた研修等を様々な形で進めていただくようお願いいたします。そのためには、まずは具体的な実施の流れや研修のプログラムを固めていただく必要があると思います。

仮に東京2020オリンピック・パラリンピック自体が中止になったとしても、新宿2020サポーターに関しては、大会終了後も新宿区の様々なイベントに継続的に参加できるようにしていくということを当初から考えていたと思いますので、この4月、5月からでも研修などを通じて地域の色々なイベントに関わることができるように、大変な時期ではありますが、区として早く具体的な動きを進めていく必要があるのではないかと思います。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

ご指摘のとおり、コロナ禍でのボランティア活動ということでサポーターの皆様も不安に感じるところが多いと思いますので、その点を早急に払拭できるように、早めの情報提供と具体的な情報共有をしっかりと進めていきたいと考えています。

**【渡邊部会長】**

これまで当協議会では、委員の皆様と共に、イベント等に様々な形で協力をしてまいりました。そういった意味では、このコミュニティライブサイトは、その集大成、すなわちゴール地点になると思っています。

しかしながら、コロナ禍の現状を踏まえ、これまでの形式とは異なる、現在の時代の参加方法を考えていかなければならないと思います。会場に人数制限があるという点で、参加希望者が抽選に漏れることも想定されますので、オンライン等の仕組みをうまく使って、自宅に居ながらも参加できる方法等を検討した方が良いのではないかと思います。

また、東京五輪音頭について、今後もレガシーとして踊り続けていくと思いますが、この大会期間中に踊らずにいつ踊るのか、この点は色々な工夫の仕方があると思います。演奏家の方や演者の方、オンライン等を活用した参加、リアルタイムのもの、録画したもの、様々な方法が考えられますので、なるべく広く多くの方が参加できる形を考えていただきたいと思います。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

コロナ禍においては、オンラインの活用は有効なツールだと思います。今年のイベントにおいてどのような工夫ができるか、今後、渡邊部会長にご相談させていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

**【村岡座長】**

それでは、三井特別アドバイザーから一言いただけますでしょうか。

**【三井特別アドバイザー】**

新型コロナウイルスの影響で大会が延期となり、この大会直前の状況でも様々な問題で大会自体をやらない方が良くはないか、という声も多く聞こえてくる状況ではありますが、前向きに大会を必ず成功させようと、大会組織委員会、JOC、東京都、新宿区の皆様も含め多くの方々力が注いでくださっていることに大変感謝しています。選手たちも必ず大会を成功さ

せよう、自分の人生にとっても価値のある大会にしようという気持ちを持って取り組み、終わったあとに心からやって良かったと思えるような大会にしたいと皆が思っています。そのためには、皆様の力がこれまで以上に必要になってくると思いますので、ぜひお力添えいただきたいと存じます。

アーティスティックスイミング競技は、5月から予選会が始まり、実際に海外の選手たちが日本に来るという状況となり、その時には、新宿区の中にも色々な海外の選手が来ると思います。感染症対策もより大変になってくると思いますが、そういった面でも引き続きお力添えをいただければと存じます。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

**【委員】**

東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成についてです。町会・自治会も含め、地域団体では何か事業を行いたいと思っはいますが、コロナ禍でなかなか実施できない状況です。助成対象事業として、盆踊りなどが思い浮かびますが、それ以外で何かこの状況下で実施できるような事業を区の方からアドバイスしていただけると、地域としてもアイデア出しができると思います。何か良い事例などありましたら教えていただけますでしょうか。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

令和元年度に助成した事業では、不特定多数の方が自由に参加できるイベントが多かったですが、現在は不特定多数の方を集めるイベントはなかなか実施できないと思います。そういった中でどのような事業が実施できるのかについては、当課できめ細やかにご相談を受けさせていただきたいと思っています。例えば、定員をある程度絞った形での競技体験のイベントであったり、オリンピック・パラリンピック関連の資料の展示会といったものは感染症対策を講じたうえで実施が可能かと思います。いずれにつきましても、具体的な事業のご相談をいただく中で個別に丁寧に対応していきます。

**【村岡座長】**

活発なご議論、ご意見をいただき、ありがとうございました。

次に、次第の3、区からの情報提供についてです。

東京2020大会の開催まで4か月を切り、新型コロナウイルス感染症対策やそれを踏まえた計画の見直しなど、大会に関する新しい情報が次々に出てきています。

大会に関する情報共有は、この協議会の設置目的の一つであり、また、各団体の今後の取り組みにも関わってくると思いますので、議題の一つとして、現時点における大会に関する情報を、この場で共有したいと思います。

それでは、事務局からご説明をお願いします。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

それでは、事務局より5点説明させていただきます。



第一に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議の中間整理について説明します。この会議は、国、東京都、大会組織委員会等を中心とした会議体で、昨年9月から12月まで6回に渡って議論が行われました。その中間整理の概要を簡単に説明します。はじめに、アスリートの対策としては、行動範囲や行動ルールの制限が徹底された中で、競技が行われることになっています。続いて、大会関係者に関する対策としては、主催者、メディア、大会スタッフ、ボランティアについても一定の行動ルールの下で活動するとされており、具体的な対策は今後整理される予定です。このほか、聖火リレーやライブサイトについては個別のガイドラインが別途示されており、新宿区の聖火リレー及びコミュニティライブサイトについても、このガイドラインに基づいて実施していきます。

第二に、東京2020オリンピック聖火リレーのルートについてです。東京都には、7月9日に聖火がやってきます。7月9日から7月23日までの間に、都内62区市町村を島しょ部も含めて巡ることになっています。

新宿区は7月23日の予定で、新宿住友ビルを10時15分にスタートします。甲州街道まで南下し、甲州街道を東に四谷四丁目の交差点まで進んだ後、北上して富久町西交差点で一度ゴールとなります。その後、神楽坂に移動し、11時15分から11時21分まで6分間程度、かくれんぼ横丁から毘沙門天善國寺まで一区間を走ります。そこから再度、富久町の辺りに戻り、NTT四谷ビル前から西に向かって進み、大ガードを通過して新宿中央公園を1周半回った後、ワシントンホテル側から東京都庁に向かい、12時34分にゴールという予定になっています。

第三に、東京2020オリンピック聖火リレーの感染症対策について説明します。先ほどご説明した新型コロナウイルス感染症対策調整会議の中間整理に基づいてガイドラインが策定され、令和3年2月25日に大会組織委員会より公表されました。特に沿道での観覧者の密に対する対策等が重要と捉えておりますので、警視庁や東京都としっかりと協議を進めていきたいと考えています。

第四に、オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチの都内区市町村巡回展示についてです。令和2年11月より、聖火リレートーチが都内の区市町村を巡回して展示されています。緊急事態宣言中は展示を中止していましたが、4月から再開する予定です。新宿区は、7月2日及び7月3日に新宿スポーツセンターで展示する予定ですので、お時間が合う方はご覧いただければ幸いです。

第五に、東京2020大会における海外観客に関するステートメントについてです。海外の観客の受け入れの断念について、令和3年3月20日に公表されたものです。

説明は以上です。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

議題は以上となりますが、引き続き事務局より連絡事項がございますので、よろしくお願いたします。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

事務連絡として、次回令和3年度第1回の協議会については、5月28日(金)10時から開催する予定です。会場については現在調整中ですので、後日改めて通知いたします。引き続きよろしくお願いいいたします。

**【村岡座長】**

それでは、これをもちまして令和2年度第3回新宿区東京2020大会区民協議会を閉会させていただきます。

ありがとうございました。

<閉会>